

令和2年度 呼子小学校 学校経営方針

唐津市立呼子小学校 校長 宮本 克一

1 学校経営の基本方針

1 学校教育目標

「自他を大切にするとともに、主体的に考え・動く子どもの育成」

～ つよく・かしこく・あたたかく～

設定理由

情報化やグローバル化など目まぐるしい変化を遂げる時代においても、人はだれでもよりよい成長と発展を願い、努力を続ける。生きているその時々思い考え、その時々のできあわせを作ろうとしていると考える。その実現のためには、一人ひとりの児童に生きる力となる知力、気力、体力と思考力、判断力、表現力そして、他者と協働し新たなものを生み出す創造力等が必要であり、それらの力を確実に身につけさせておくことが学校教育の大切な役目であると考え

る。

本校児童の特徴として、活動的であり、素直で明るく、大いなる可能性を秘めている。その反面、思いはあっても伝え方がやや不得手で公的な場面になると臆してしまったり（コミュニケーション能力の低さ）、「人権意識」が低く、周りに流されやすく「規範意識が低い」といった一面を持ったりしている。また、自己肯定感が低く、自信をもって物事に積極的に取り組んでいく姿勢もまだ不足している。さらに、学力の二極化が顕著である。

そこで、子どもたちの主体的・自主的な活動を推進していく中で、自尊感情を高め、自己有用感を感じ、他者に対しても寛容な態度で接することができるような児童に育成することが大切である。さらに、善悪の判断をきちんと行い、正しいと思う行動を進んで行える児童の育成が重要となってくる。そのために、令和元年度から海青中学校区4校で取り組んでいる「人権教育総合推進地域事業」を学校教育の柱に据え、人権意識の向上を基本とし、常に児童の「主体性」を念頭に置きながら指導を行うことで目標達成につながっていくと考える。

2 学校重点課題（呼子小重点プログラム）

○学力の保障 ○呼子小学校全体のUD化 ○心の教育の充実 ○業務改善

3 学校経営の基本方針

全員力で目指す「人権意識の高い学校」

～ 人権が尊重される学校風土を創る ～

本年度の児童数は193名で、6年生が2学級（少人数学級）、5年生以下が全て単学級となった。児童数は次年度以降も減少傾向にある。特別支援学級（知的1、情緒2、難聴1）は4学級である。6年生は少人数TT加配の教員を担任とする措置（少人数学級）により2学級となっている。そのため、級外がないといった状況である。教職員は県費教職員数18名（含 育児休業者1名）、市費職員5名の計23名となった。また、令和元年度から令和2年度にかけての人事異動では7名の教職員の入れ替えがあった。

職員は、上記の学校課題を十分に把握しており、「子どものために何かをしなければ」という思いをもち、各学年、各部でそれぞれに取り組むを行ってきている。また、昨年度から文部科学省の「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け、本校の大きな課題の一つである「人権教育」を柱に据えて取り組んでいくこととなる。学校で営まれるすべての教育活動に「人権」という網をかけ、教職員、児童、保護者、地域が一体となって人権教育に取り組んでいくことを学校経営の基本方針とする。そのために次の3つことに留意しながら進めていきたい。

- ① 同僚性の高い職場～職場は個性の集まり。協働。補いあいながら。学校は様々な職種で成立。
- ② 呼子小学校全体のUD化の促進～全ての児童も職員も誰にとっても居心地のいい学校。
- ③ 変化を恐れない職員集団～前例踏襲は後退と同じ。授業改善。業務改善

「すべての責任は校長がとる。思い切ってやってみる」

その中で校長の役割は、教職員への動機づけと目指すベクトルを同じにすることである。職員との細かな面談や人事評価制度を生かし、学校全体の課題と職員自身の課題をつなげ、具体的な成果を意識させながら業務を遂行させていきたい。さらに、全ての教職員が「人権教育」という視点を常に持ち、アイデアを考案し、お互いに支え合いながら、組織力を生かした実践をしていく中で、一人一人が「やりがい」を感じながら、人権意識の高い学校を創り上げていきたいと考える。このような学校課題の解決に向けた「チーム呼子」の取り組みで、職員個々の教師力も確実に育つと考える。

4 目指す子ども像

確かな学力、豊かな心、健やかな心身の調和的成長を目指す「生きる力」を児童に身につけさせていくことが求められている。変化の激しい社会において、物事や事象等の価値を見抜き、見通しをもって適切に行動していくことは、初等教育段階での重要な指導内容である。

生きていく上で生じる様々な課題に直面した時に、自己の知力、気力、体力を活用して、課題解決していくことが、人生の豊かさにつながる大切なことであるとする。

子どもと教師、保護者、地域が目指す子どもの姿について、以前から本校に掲げられている「めざせキラリと光る呼子っ子」は「生きる力」の基礎となる「知・徳・体」を表現している。そこで、このスローガンを再確認し、育てるべき方向性（目指す子ども像）を同じにして取り組んでいきたい。このスローガンには「人権」の視点も含まれていて学校経営の基本方針と合致する子ども像である

めざせ☆きらりと光る呼子っ子

- ① よく聞き考え 進んで勉強 (かしこく＝学力保障)
- ② ぶつかるやる気 バリバリ仕事 (あたたかく＝勤労奉仕)
- ③ ことばハキハキ あいさつ礼儀 (あたたかく＝自他の尊重)
- ④ つけようけじめ なくそういじめ (あたたかく＝差別解消)
- ⑤ こころキラキラ じょうぶな体 (つよく＝生命尊重)